



2024年4月26日

各位

会社名 大成建設株式会社
代表者名 代表取締役社長 相川善郎
コード番号 1801
上場取引所 東証プライム・名証プレミア
問合せ先 経理部長 中野雄一
電話番号 03-3348-1111 (大代表)

業績予想の修正について

2024年2月8日に公表いたしました2024年3月期の業績予想を下表のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想

2024年3月期 (2023年4月1日～2024年3月31日) (単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	1,690,000	64,000	67,000	47,000	251円77銭
今回修正予想 (B)	1,765,000	26,400	38,900	40,200	215円36銭
増減額 (B - A)	75,000	△37,600	△28,100	△6,800	
増減率	4.4	△58.8	△41.9	△14.5	
前期 (2023年3月期) 実績	1,642,712	54,740	63,125	47,124	241円24銭

2. 個別業績予想

2024年3月期 (2023年4月1日～2024年3月31日) (単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	1,360,000	47,000	50,000	36,000	192円85銭
今回修正予想 (B)	1,393,000	5,500	13,700	22,600	121円07銭
増減額 (B - A)	33,000	△41,500	△36,300	△13,400	
増減率	2.4	△88.3	△72.6	△37.2	
前期 (2023年3月期) 実績	1,325,598	41,655	49,691	36,951	189円16銭

3. 修正理由

(1) 個別業績予想の修正理由

売上高は、受注高の増加に伴い、前回予想を 330 億円上回る見込みです。

営業利益については、国内の建築事業において、以下を主因とした手持工事の利益率低下や工事損失引当金の計上に伴い売上総利益が未達となることから、前回予想を 415 億円下回る見込みです。

- ・ 全体的な基調として、建設物価の上昇影響により、原価低減や追加工事の獲得による収支改善が進捗しなかったこと。
- ・ 見積提出後、契約・着工までに長期間を要し、建設物価の上昇影響を強く受けた一部の大型工事において、原価低減に寄与する資材調達交渉等が全ては完了しておらず、当期末時点の収支状況に基づいた決算処理をせざるを得ないこと。
- ・ 一部の大型工事における工程逼迫への対応に伴い、収支が悪化する見込みとなったこと。

また、営業利益の下方修正に伴い、経常利益は 363 億円、当期純利益は 134 億円、各々前回予想を下回る見込みです。

なお、完成工事総利益率は、4.3%（土木 19.8%・建築△1.0%）となる見込みです。（前回予想 8.0%（土木 19.1%・建築 4.1%））

(2) 連結業績予想の修正理由

主に個別業績予想の修正に伴い、売上高及び各利益を修正するものです。

4. 期末配当について

当社は、長期的な安定配当を基本方針として、将来の事業展開に備えるために内部留保の充実を図りながら、業績に応じて株主に利益の還元を行うこととしております。

当期の期末配当金につきましては、業績予想を下方修正しましたが、今後の経営環境等を総合的に勘案し、2024年2月8日に公表のとおり、1株当たり65円の配当を予定しております。

5. 次期の見通し

次期（2025年3月期）は、期首手持工事残高の増加により建設事業が増収となり、連結売上高は1兆9,900億円となる見通しです。

また、利益面では、増収に加え、建築事業の利益率改善に伴い、連結営業利益は870億円、親会社株主に帰属する当期純利益は650億円となる見通しです。

なお、詳細につきましては、2024年5月13日の決算発表時に新たな中期経営計画（2024-2026）と併せてお知らせすることを予定しております。

以 上